

## 会議録

|  |   |
|--|---|
| 会議の名称  | 令和2年度 第1回西東京市文化芸術振興推進委員会  |
| 開催日時   | 令和2年8月19日（水） 午後7時から午後8時50分  |
| 開催場所   | 田無第二庁舎4階会議室1・2  |
| 出席者  | 委員：廣瀬委員長、田中副委員長、藤井委員、葛西委員、島田委員、濱崎委員、中村委員、田邊委員、中野委員、青木委員<br>事務局：堀文化振興課長、文化振興課栗林課長補佐（兼文化振興係長）、文化振興課文化振興係山本主任、文化振興課文化振興係蓮見主事                               |
| 議題   | 1 依頼状交付<br>2 委員会の運営について<br>3 「令和2年度施策・事業評価（令和元年度分）」調査結果について<br>4 その他  |
| 会議資料の名称  | 【当日机上配布資料】<br>資料1 西東京市文化芸術振興推進委員会設置要綱<br>資料2 西東京市文化芸術振興委員会傍聴要領<br>資料3 西東京市文化芸術振興推進委員会名簿<br>資料4 西東京市第2期文化芸術振興計画「令和2年度施策・事業評価（令和元年度分）」調査表<br>資料5 重点項目の考え方 |
| 記録方法   | <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録                                    |
| 会議内容   |   |
| <p>【以下、事務局にて議事進行】</p> <p>1 開会</p> <p>2 文化振興課長あいさつ</p> <p>3 【議題1】依頼状交付（事務局より）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年8月1日より新たに委員を依頼したことから、依頼状を机上に配布。</li> <li>・委員の任期は、西東京市文化芸術振興推進委員会設置要綱（以下「要綱」という。）第4第1項に基づき、2年である令和4年7月31日まで。</li> <li>・4月1日付で配属の蓮見より自己紹介。</li> </ul> <p>4 【議題2】委員会の運営について（事務局より）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1「西東京市文化芸術振興推進委員会設置要綱」及び資料2「西東京市文化芸術振興推進委員会名簿」を用いて委員会の目的や運営について説明。</li> </ul> |   |

- ・要綱第5第1項に基づき、互選により廣瀬委員を委員長に、田中委員を副委員長とすることについて決定。

【以下、廣瀬委員長にて議事進行】

○事務局：

- ・西東京市文化芸術振興推進委員会傍聴要領に基づき、傍聴について必要事項を確認。
- 令和2年度の傍聴人の数を、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、3人までとすることで全会一致。

5 【議題3】「令和2年度施策・事業評価(令和元年度分)」調査結果について

○事務局：

- ・資料4「西東京市第2期文化芸術振興計画「令和2年度施策・事業評価(令和元年度分)」調査表」及び資料5「重点項目の考え方」を用いて、「令和2年度施策・事業評価(令和元年度分)調査結果について説明。

(説明内容)

- ・第2期文化芸術振興計画に基づき、計画の初年度となる令和元年度分について各所管課が自己評価を実施。

○事務局：

- ・本日は、基本方針1に関する施策に関することを議論していただきたい。
- ・基本方針1「参加のきっかけづくり」について説明。
- ・資料4における各所管課からの回答内容等について、各委員に対し、事前の質問を求めていた結果、数件の質問があった内容について、事務局より回答。

○委員：

- ・新型コロナウイルス感染症が拡大している状況下において、イベントを実施するにあたり、行政として決まっているルール等があれば教えてほしい。

○事務局：

- ・市の公共施設については、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、定員を従来の半数程度に削減、3密の防止、手指消毒やこまめな換気等、施設の利用方法を変更して貸出している。イベントの実施については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで、実施する内容・時期が適切であるか十分に検討することが求められており、他で作成されている参考となる資料等を活用しながら、実施の可否について判断をしていくこととなる。

○委員：

- ・今回の調査表は、令和元年度の実績を記載するため、令和元年4月から令和2年3月までの内容になっており、年度末頃に新型コロナウイルスの影響を受けはじめていたと認識しているが、実績への影響はあったのか。

○事務局：

- ・令和2年3月2日から、公共施設について休館の対応を取っていたため、3月に実施予定であった事業などは未実施となっているものが多い。

○委員：

- ・文化芸術の分野は、ソーシャルディスタンスの関係で実施が難しい状況にある。調査

表の中で、3月実施の事業については、B、C評価が増えており、令和3年度に実施する調査の際にはC評価が多くなってしまわないか。そのため、B、Cの評価の付け方については、どのような基準で評価するか、令和3年度調査をする前に事務局にて考えておいていただきたい。

○委員：

・調査表2ページ【1-1-2】障害福祉課の主な実績欄において、フレンドリーまつりが度々掲載されている。いくつもの項目で同じ事業を載せる際には、主となる項目を作る等、回答の仕方を考える必要があるのではないか。

○委員：

・同【1-1-2】障害福祉課の主な実績等の内容を見る限り、A評価でも良いのではないか。

○委員：

・同【1-1-2】文化振興課の主な実績欄に標記されている『パラアート』とはなにか。

○事務局：

・障害を持つ方々が創作する芸術のことである。

○委員：

・障害の種類で対象を絞る事業や、逆に特定の障害を持つ方を対象とした事業等は実施されているのか。

○事務局：

・フレンドリーまつりについては、対象者を限定することはないと認識している。文化芸術の分野ではないが、障害者サポーター養成講座では対象を限定している可能性はある。

○委員：

・パラアート展覧会はどこで実施したのか。多摩六都科学館等か。

○事務局：

・この事業は多摩六都文化事業として実施している内容であるため、圏域内の5市である、清瀬市、東村山市、小平市、東久留米市の各市公共施設を回り、最後に西東京市のコール田無にて展覧会と表彰式を実施した。

○委員：

・オンラインの活用に対して、尻込みしている人も多いのではないか。音楽や芸術を知ってもらう1つのきっかけになると思う。

○委員：

・文化芸術という分野がオンラインだと伝わりづらいのではないか。

○委員：

・調査表1の3ページ「基本方針1 施策1 ライフステージ等に合わせた文化芸術活動の提供」における取り組みは、各課でできているという印象も持つことができた。

○委員：

・イベントカレンダーのようなものがあれば、特定の分野に興味を持っている人への周

知に活用できるのではないか。

○事務局：

- ・市のホームページには月別のイベントカレンダーがある。

○委員：

- ・そのカレンダーのように、良いものはあるが、それが見られるまでの周知が必要ではないか。

○委員：

- ・調査票2ページ【1-1-2】及び3ページ【1-2-3】の健康課が記載している今後の展開（課題・予定）の欄について、「食育を進める」との同じ記述となっているが、これで良いのか。主な取り組む内容は同じでも良いが、評価の理由、今後の展開については、切り口によって内容を変えていただきたい。

○委員：

- ・調査票3ページ以降の公民館の内容も主な実績、評価の理由、今後の展開がいずれも同じ内容となっている。この様な回答をもらった場合は、必要に応じて差し戻す等の対応が必要ではないか。

○事務局：

- ・所管課には、同じ内容でも取組の内容や概要に合わせて、評価の理由、今後の展開について内容を記載するように修正を依頼する。

○委員：

- ・調査票6ページ【1-4-1】文化振興課の今後の展開の欄について、電子モニターの活用の件は令和元年度の文化芸術推進委員会においても指摘があった。令和2年度こそはA評価になるよう取り組んでいただきたい。

○委員：

- ・ホームページアンケートはどこで実施しているのか。

○事務局：

- ・秘書広報課が実施している。

**【以下、田中副委員長にて議事進行】**

○委員：

- ・調査票6ページからの施策4市民に届く効果的な文化情報の提供については、先ほども意見があったイベントカレンダーのように、市民が一元的に見ることができるものがあれば良い。そういった視点も踏まえ、効果的な文化情報の提供について、皆さんのご意見をお聞きしたい。

○委員：

- ・イベントへの来場者が、どのような情報を見てイベントを知ったのかなど、その情報源は把握しているのか。

○事務局

- ・多くのイベントでは、アンケートを実施しており、情報源はアンケートによって把握している。文化振興課の例で言えば、アンケート結果では、市のホームページか、市報を見て事業を知った人が大半となっている。

- 委員：
  - ・保谷こもれびホールの主催・共催事業についても、2か月に1回発行するイベントニュースか、保谷こもれびホールのホームページを見て足を運ぶ方が大半となっている。
- 委員：
  - ・ホームページや市報等を見ていない人は何を見てイベントを知ったのか、また、ホームページについてはどのようなページを見てイベントを知ったのかなどわかれば、より多くの方にイベントに来てもらえるのではないか。
- 事務局：
  - ・その時々で、流行しているキーワードを事業名やテーマに入れると参加者は増える傾向にあると感じている。市民が市の事業に始めて参加したときに、参加してよかったと思うなど好印象を持つと、また市の事業に参加しようと思ってもらえる可能性が高いのではないか。
- 委員：
  - ・市の事業に初めて参加するとなると、小学生や保育園児のような若年層をターゲットとした事業なのではないかと思われるが、そういった年齢層にターゲットを絞った事業の成功例はあるか。
- 事務局：
  - ・個々の事例については把握していないが、特定の世代のみに絞ってしまうと事業の対象者が限られてしまい、様々な世代に向けた取り組みとはなくなってしまう可能性があるため、親子向けや子ども向けだけでなく、幅広く事業を実施していく必要があると認識している。
- 委員：
  - ・駅に市報を置くことができれば、効果的ではないか。
- 事務局：
  - ・駅に掲示板はあるが、市報を置くことは難しいと聞いたことがある。
- 委員：
  - ・西東京市はベッドタウンであることから、駅は若者向けの広報に最適化と思われる。例えば、市が年間実施するイベントの来場者数ランキング等を作成して、駅の改札を出た先の目につくところに張り出せば、効果があるのではないか。
- 委員：
  - ・駅を活用した情報発信の仕組み作りを考えていくことが必要ではないか。
- 委員：
  - ・調査表7ページ【1-4-2】の図書館の回答については、なぜB評価なのか。
- 事務局：
  - ・館内での掲示スペースには限りがあり、拡充することは難しく、今後検討していく余地が無いと聞いている。
- 委員：
  - ・調査表6ページから7ページまでの【1-4-2】については、B評価をしている所管課もあるが、実績等を見る限り、多くの所管課が目標を達成できていると認識できるため、A評価でも良いのではないか。

○委員：

- ・調査票7ページ【1-4-3】の保谷こもればいホールの該当項目については、ホームページを通じた広報にとどまっており、SNSなどインターネットサービスの導入、情報発信には至っておらず、その導入が今後の検討課題と認識しているため、B評価としている。

○委員：

- ・市のツイッターやフェイスブックはとても良い情報を提供しており、見やすい。リツイートを活用できるとさらに良い。市のホームページや市報はもとより、アプリ等も活用して、地道に広げていくことが大切ではないか。

○委員：

- ・文化芸術という分野について、さらに市全体に広げていくためには、若年層の取込みが非常に大切だと考える。各委員が携わっている分野に関しては、所管するそれぞれの課と連携を密にしていくことが大切ではないか。

○委員：

- ・2月の庁舎移転後、保谷こもればいホール内のレストラン「はなみずき」はどのような状況なのか。

○委員：

- ・レストラン「はなみずき」については、テイクアウトを始めたり、テラス席を設けたりと新たな取り組みも行っている。ラグビーワールドカップをきっかけとして、その時々でなにかとコラボレーションした料理の提供等にも取り組んでいる。

## 6 【議題4】 その他（情報共有含）

○事務局：

- ・次回以降の議事進行は、第2回推進委員会では基本方針2及び基本方針3に関する施策に関する事、第3回推進委員会では基本方針4及び基本方針5に関する施策に関する事に関して議論していただくこととした。

○委員：

- ・なにか工夫をしてイベントの実施ができたなど、明るい話題はないか。

○委員：

- ・投影機を使って、駄菓子屋の花火を映写し、通行する方に見てもらえるイベントを行った。自治会のイベントや、学校の校庭でも同様に投影機を使ってイベントを行った。

○事務局：

- ・3密対策はどのように行ったのか。

○委員

- ・イベントは30分ほど実施したが、2分間の映像を繰り返し投影する形であり、マスクすること、屋外で行うことを前提として、人が立ち止まらないようにして行ったため、3密は防ぐことができた。
- ・10月に実施予定としているペDESTリアンデッキ・ライブを行う際に、「まちテナ西

東京」ブース内での実施やアスタビジョンにも映像を流すことで、2か所に人を分散させて行うことが可能かどうか検討している。

○委員：

- ・音楽については、オンラインレッスンを3月から実施しており、とても忙しい状況にある。オンラインやSNSの活用等、新型コロナウイルスの感染が拡大していることで新しい取り組みも多く行われており、これが元に戻った時こそ、更に忙しくなると認識している。
- ・音楽、演劇、合唱、お笑い等については、多くの活動が止まっている状況にある。
- ・オンラインへの対応は早急の課題とは認識できる。新型コロナウイルスの感染拡大が終息して、通常のコミュニケーションに戻った後も、情報発信の方法として活用していきたい。

○委員：

- ・小学校、中学校は再開されているが、大学だけは再開されていない。1年間オンライン授業という状況にある。前期については、大学に行くこと自体が許されておらず、常に自宅からのオンラインで授業を行った。書道については非常に苦労した。ただ、留学生は日本に来なくても講義を受けられるのは良い。

○事務局：

- ・小中学校においては、新型コロナウイルス感染症拡大予防の影響で図工や美術、音楽の授業は削減されているのか。

○委員：

- ・3密になるような授業はできないが、授業時間は削減されていない。

○委員：

- ・令和3年度に延期された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催された場合は、当委員会主催の文化フェスティバルや展覧会等実施するのか。

○委員：

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が不透明なため、西東京市20周年に合わせたイベントを実施することも含め検討をしていきたい。

7 閉会

以上